

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	外来における医療用麻薬導入患者の実態調査
研究責任者	古橋 侑樹、荒川 大輔
研究実施体制	聖隷浜松病院 薬剤部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2021年3月31日
対象者	当院 全診療科に通院し、外来にて医療用麻薬が導入になった全患者
研究の意義・目的	外来における医療用麻薬(以下、麻薬)導入された患者様における問題点として、不適切な使用により疼痛管理が不十分であることや麻薬の誤った使用により副作用が発現することが考えられます。その原因として、患者様の麻薬に対する知識不足や、忙しい外来診療の中で、医師による麻薬の十分な説明が困難といったことが考えられます。地域医療におけるがん疼痛管理では、麻薬が投与されているにもかかわらず、痛みが緩和することなく副作用が発現している患者様が多い実態にあるとの報告もあり、早急な対応が望まれています。患者様の中には麻薬を適切に使用できずに、痛みを訴えて入院が必要となる患者も見られます。そこで本研究では、外来治療において麻薬が導入になった患者様を対象に、麻薬の処方状況や麻薬導入後新たに追加になった薬剤を調査することで、当院における問題点を明らかにすることを目的としています。
研究の方法	2016年4月1日~2019年3月31日に当院 全診療科に通院し、外来にて麻薬が導入になった全ての患者様を対象に後向き観察研究し、年齢、性別、身長、体重、疾患、癌腫、併用薬、麻薬の投与方法・投与量、投与日数、麻薬導入前直近(なければ投与後直近の) Alb、AST、ALT、 γ GT、SCr、eGFR、BUN、クレアチニンクリアランス、Na、K、Ca、Mg、P、ビリルビン、白血球数、赤血球数、血小板数、好中球数、CRPのデータを調査します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名) 古橋侑樹 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日